



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 株式会社遠藤製作所
コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡部 大史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部担当 (氏名) 石原 睦

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	5,815	23.3	70		77		172	
2019年12月期第3四半期	7,583	14.3	225	64.6	316	57.6	179	59.2

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,011百万円 (%) 2019年12月期第3四半期 559百万円 (5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	19.77	
2019年12月期第3四半期	20.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	17,457	14,888	85.3
2019年12月期	18,804	16,022	85.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 14,888百万円 2019年12月期 16,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		15.00	15.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年12月期 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 記念配当3円00銭

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,950	18.7	250		256		352		40.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期3Q	9,441,800 株	2019年12月期	9,441,800 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2020年12月期3Q	694,071 株	2019年12月期	706,271 株
-------------	-----------	-----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期3Q	8,742,653 株	2019年12月期3Q	8,733,191 株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注)期末自己株式数には、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式が含まれております(2020年12月期3Q67,200株、2019年12月期79,400株)。また、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年12月期3Q72,276株、2019年12月期3Q81,738株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調でありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により、景気が急速に悪化する等、経済活動は大きく制限され、世界経済全体へ波及しております。足元では経済に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せず、依然として極めて厳しい状況に推移し、先行きに対する不透明感が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、取引先に対し受注獲得の取り組みを強化し、開発力の向上と高付加価値製品の供給に努めるとともに、全社で生産効率の向上、製造原価の低減、一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、一部で徐々に受注が回復しつつあるも、新型コロナウイルス感染症の影響による受注の大幅な減少等により、売上高は58億15百万円（前年同期比23.3%減）となりました。利益面につきましては、生産効率の向上、固定費の低減等のコスト削減に努めましたが、売上高の減少等により、営業損失70百万円（前年同期は2億25百万円の営業利益）、経常損失77百万円（前年同期は3億16百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億72百万円（前年同期は1億79百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響によりゴルフ市場が低迷する中、企画開発力を高め品質の向上、営業力を強化し受注獲得に努めました。

また、更なる生産効率の向上や製造コストの低減が進んだこと等により、売上高27億86百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益2億92百万円（前年同期は1億17百万円の営業損失）となりました。

(メタルスリーブ事業)

メタルスリーブ事業につきましては、高機能製品の開発・提案や新分野・新規販路の開拓に努めるとともに、生産性の向上・合理化、製造原価の低減を進める中、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が減少し、取引先の在庫調整等から、受注数が減少したこと等により、売上高5億27百万円（前年同期比38.5%減）、営業損失66百万円（前年同期は1億58百万円の営業利益）となりました。

(鍛造事業)

鍛造事業につきましては、前年からのタイ国自動車産業の伸び悩みに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、取引先の操業停止等から生産数が大幅に減少するも、一部で徐々に回復の兆しもみられる中、主要取引先との関係の強化に努め、積極的な営業活動と新規販路の開拓に取り組むとともに、生産性の向上、生産体制の効率化等のコストの削減に努めましたが、受注数が大幅に減少したこと等により、売上高25億円（前年同期比38.3%減）、営業損失7百万円（前年同期は5億15百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、174億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億46百万円減少いたしました。

流動資産は、99億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億47百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金が減少したこと等によるものであります。固定資産は、74億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億99百万円減少いたしました。この主な要因は、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、土地が減少したこと等によるものであります。

負債合計は、25億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億12百万円減少いたしました。

流動負債は、13億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。この主な要因は、未払金及び未払費用、支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものであります。固定負債は、12億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億35百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金の減少等によるものであります。

純資産合計は、148億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億33百万円減少いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が引き続き不透明であるものの、最近の動向を踏まえ、2020年9月28日付公表「業績予想に関するお知らせ」の予想数値を修正しております。

詳細につきましては、本日別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,110,511	6,364,878
受取手形及び売掛金	1,667,343	2,022,261
電子記録債権	153,357	115,383
商品及び製品	460,036	387,328
仕掛品	403,166	410,612
原材料及び貯蔵品	642,229	577,981
その他	189,360	103,200
貸倒引当金	△9,671	△12,326
流動資産合計	10,616,334	9,969,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,210,282	2,895,331
機械装置及び運搬具(純額)	1,838,410	1,641,801
工具、器具及び備品(純額)	151,284	145,240
土地	1,550,024	1,403,598
建設仮勘定	240,741	177,505
有形固定資産合計	6,990,743	6,263,477
無形固定資産	29,202	45,494
投資その他の資産		
投資有価証券	358,451	377,924
投資不動産(純額)	241,745	239,792
退職給付に係る資産	508,612	511,455
繰延税金資産	44,594	32,330
その他	19,107	18,249
貸倒引当金	△4,050	△300
投資その他の資産合計	1,168,461	1,179,452
固定資産合計	8,188,407	7,488,424
資産合計	18,804,741	17,457,743

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	614,148	543,807
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	78,055	62,105
未払金及び未払費用	407,269	303,886
賞与引当金	45,629	222,910
その他	169,393	104,479
流動負債合計	1,414,496	1,337,189
固定負債		
長期借入金	700,000	625,000
繰延税金負債	172,519	157,915
退職給付に係る負債	359,677	334,114
役員株式給付引当金	22,318	21,876
資産除去債務	48,876	49,629
その他	64,110	43,902
固定負債合計	1,367,502	1,232,438
負債合計	2,781,999	2,569,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,220,643	1,220,643
利益剰余金	11,956,009	11,650,923
自己株式	△308,493	△299,246
株主資本合計	14,109,948	13,814,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,997	△33,831
為替換算調整勘定	1,933,169	1,111,102
退職給付に係る調整累計額	△4,377	△3,264
その他の包括利益累計額合計	1,912,794	1,074,006
純資産合計	16,022,742	14,888,115
負債純資産合計	18,804,741	17,457,743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	7,583,753	5,815,369
売上原価	6,300,052	4,937,187
売上総利益	1,283,700	878,181
販売費及び一般管理費	1,057,767	949,115
営業利益又は営業損失(△)	225,932	△70,933
営業外収益		
受取利息	43,655	16,047
受取配当金	1,533	1,946
投資不動産賃貸料	19,694	9,359
為替差益	30,994	4,466
その他	16,301	14,790
営業外収益合計	112,178	46,610
営業外費用		
支払利息	3,614	3,199
投資不動産賃貸費用	7,994	8,404
投資有価証券評価損	—	2,290
投資事業組合運用損	—	22,143
その他	10,061	16,783
営業外費用合計	21,670	52,821
経常利益又は経常損失(△)	316,441	△77,145
特別利益		
固定資産売却益	—	30,447
特別利益合計	—	30,447
特別損失		
減損損失	—	9,668
特別損失合計	—	9,668
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	316,441	△56,365
法人税、住民税及び事業税	183,563	122,096
法人税等調整額	△46,730	△5,599
法人税等合計	136,833	116,497
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,608	△172,862
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	179,608	△172,862

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,608	△172,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,483	△17,834
為替換算調整勘定	385,301	△822,066
退職給付に係る調整額	1,234	1,112
その他の包括利益合計	380,051	△838,788
四半期包括利益	559,659	△1,011,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	559,659	△1,011,650
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大により、市場の低迷、需要の低下から一部の取引先は減産を行い、当社グループはその影響を受けております。

このような状況により、当連結会計年度中は一時的な需要低下があるものの、感染拡大の収束、経済活動再開に伴い、需要は徐々に回復していくと仮定しており、当社は固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は、不確定要素が多いことから、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積りと異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	メタルス リ ーブ事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,674,325	858,612	4,050,815	7,583,753	—	7,583,753
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,548	—	—	2,548	△2,548	—
計	2,676,873	858,612	4,050,815	7,586,301	△2,548	7,583,753
セグメント利益又は損失(△)	△117,817	158,139	515,906	556,228	△330,295	225,932

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△330,295千円には、セグメント間取引の消去△2,548千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△327,746千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ゴルフ事業	メタルスリ ーブ事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,786,861	527,908	2,500,599	5,815,369	—	5,815,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,786,861	527,908	2,500,599	5,815,369	—	5,815,369
セグメント利益又は損失(△)	292,045	△66,409	△7,676	217,958	△288,892	△70,933

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△288,892千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△288,892千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、504千円であります。

「メタルスリーブ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、494千円であります。

各セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、8,669千円であります。